

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	保健医療政策課
	施策	医療体制の充実		電話番号	087-839-3805
	基本事業	救急医療体制の確保		事業実施主体	市
	事務事業	在宅当番医制等事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	休日（日曜、祝日）に診療を行う医療機関を当番制により確保する。時間は原則9：00～18：00。委託先は地区医師会（高松市医師会、木田地区医師会、綾歌地区医師会）。関係市町は負担金を人口按分で支出。				
2年度概要	休日（日曜、祝日）に診療を行う医療機関を当番制により確保する。時間は原則9：00～18：00。委託先は地区医師会（高松市医師会、木田地区医師会、綾歌地区医師会）。関係市町は負担金を人口按分で支出。				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		


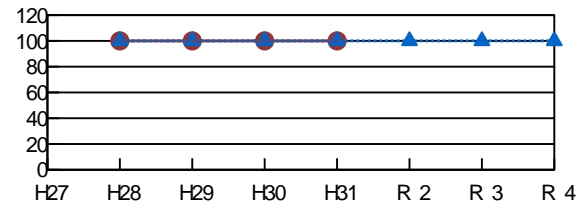

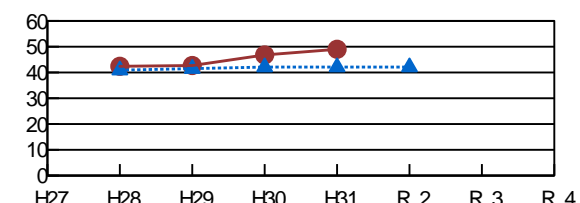
【事業の目的】

対象（何を）	休日における急病患者
意図（どのような状態にしたいか）	休日における急病患者に適切な医療を提供し、初期救急医療体制の確保を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
在宅当番医の診療日数	日	70	72	75	70	72

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
休日における休日当番医の開設稼働率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 全ての休日において休日当番医を開設したことから、当初の計画どおり目標を達成することができた。 							(達成度) 100.0% 35点
市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度	%	目標値	41.5	42.1	42.1	42.1	42.1
		実績値	42.7	46.8	49		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度は49.0%であり、目標値を達成することができた。 							(達成度) 116.4% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	13,445	24,585	22,926	26,187
（事業費）	[円]	11,928	23,073	21,408	24,669
（職員人件費）	[円]	1,517	1,512	1,518	1,518

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
地区医師会（高松市医師会、木田地区医師会、綾歌地区医師会）に事業を委託し、休日（日曜・祝日）診療を行う医療機関を当番制により確保した。 なお、インフルエンザ流行期には、患者数増に対応するため、医療機関の開設数を増やす措置が必要である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
休日における初期救急医療体制の保持に努めるとともに、休日における安易な受診を抑制するため、かかりつけ医の普及や患者の受診マナーの向上に向けて周知・啓蒙を図っていく。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	保健医療政策課
	施策	医療体制の充実		電話番号	087-839-3805
	基本事業	救急医療体制の確保		事業実施主体	市
	事務事業	歯科救急医療センター休日・夜間救急歯科診療事業運営補助事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	休日及び夜間に歯科救急医療センターにおいて歯科診療を行う高松市歯科医師会に対して、運営費の一部を助成している。 (診療時間は休日9:00～16:00(12:00～13:00は休憩)、夜間は月～土曜19:30～22:00)		
2年度概要	休日及び夜間に歯科救急医療センターにおいて歯科診療を行う高松市歯科医師会に対して、運営費の一部を助成する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)


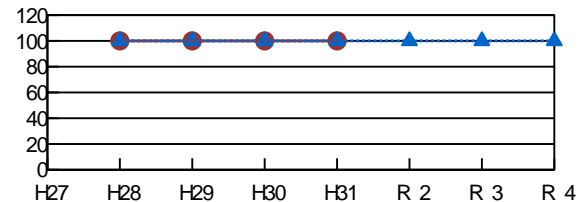

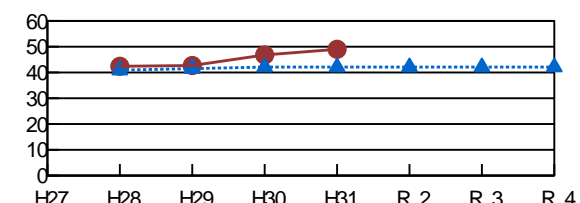
【事業の目的】

対象(何を)	休日・夜間の歯科救急患者
意図(どのような状態にしたいか)	休日・夜間における歯科救急患者に適切な医療が提供できるよう運営費の一部を助成し、初期救急医療体制の確保を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
休日の稼働日数	日	73	75	79	75	75
夜間の稼働日数	日	294	293	290	293	293

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
休日・夜間における救急歯科診療の開設稼働率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 休日(日曜日・祝日)及び夜間(日曜日・祝日、年末年始を除く。)において、歯科救急医療センターが開設されたことから、当初の計画どおり目標を達成することができた。 		(目標達成度)					(達成度) 100.0% 35点
成果指標名(どのような成果が得られたか) 市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度 成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度は49.0%であり、目標値を達成することができた。 	%	目標値	41.5	42.1	42.1	42.1	42.1
		実績値	42.7	46.8	49		
		(目標達成度)					(達成度) 116.4% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(予算)
トータルコスト	[円]	13,517	13,512	13,360	13,518
(事業費)	[円]	12,000	12,000	11,842	12,000
(職員人件費)	[円]	1,517	1,512	1,518	1,518

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

休日及び夜間に歯科救急医療センターにおいて歯科診療を行う高松市歯科医師会に対して助成を行った。なお、患者数は増加傾向にあるものの、休日当番医ほど認知度が高いとは言えない状況であることから、今後、更なる周知・啓発を図る必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

休日・夜間における歯科救急医療体制の確保を図るため、歯科医師会の運営費の一部を助成するとともに、市民の認知度が高まるよう同事業に対する周知・啓発を図っていく。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	保健医療政策課
	施策	医療体制の充実		電話番号	087-839-3805
	基本事業	救急医療体制の確保		事業実施主体	市
	事務事業	病院群輪番制運営補助事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	夜間における重症患者の受入体制を確保するため、輪番病院の運営・調整に係る費用に対して助成を行っている。		
2年度概要	夜間における重症患者の受入体制を整備するため、その運営・調整に対して費用の一部を助成している。補助対象病院は8病院。診療科目は内科と小児科。夕方から翌朝8時まで受入れを行う。また、輪番病院の負担が軽減されるよう救急医療の適正利用の周知啓発のため、地域出前講座の開催や「こどもの救急ハンドブック」の配布を行っている。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）


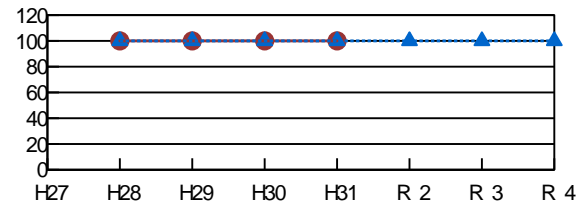

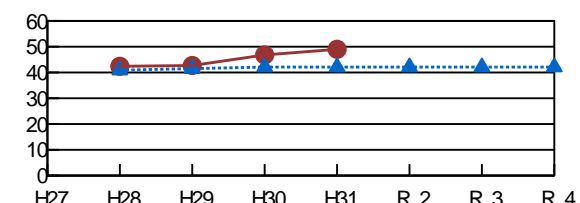
【事業の目的】

対象（何を）	夜間の入院治療が必要な重症患者
意図（どのような状態にしたいか）	夜間の重症患者に適切な入院治療が行えるよう、運営費の一部を助成し、二次救急医療体制の確保を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
補助対象病院の稼働日数	日	305	305	305	305	305

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
夜間における輪番病院の開設稼働率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 全ての夜間において、輪番病院が開設されたことから、当初の計画どおり目標を達成することができた。 							(達成度) 100.0% 35点
市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度	%	目標値	41.5	42.1	42.1	42.1	42.1
		実績値	42.7	46.8	49		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度は49.0%であり、目標値を達成することができた。 							(達成度) 116.4% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	67,854	67,593	67,803	67,522
（事業費）	[千円]	66,337	66,081	66,285	66,004
（職員人件費）	[千円]	1,517	1,512	1,518	1,518

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

夜間における重症患者の受入体制の確保のための病院群輪番制病院の運営・調整事業に対して助成を行った。また、救急医療の適正利用やかかりつけ医の推奨、子どもの救急医療についての周知・啓発を行った。引き続き、輪番病院の負担軽減が図られるよう、周知・啓発に努める必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

夜間における二次救急医療体制の確保を図るため、輪番制病院の運営・調整事業の費用の一部を助成するとともに、かかりつけ医の推奨や救急医療の適正利用につながる更なる周知・啓発に努める。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	保健医療政策課
	施策	医療体制の充実		電話番号	087-839-3805
	基本事業	救急医療体制の確保		事業実施主体	市
	事務事業	病院群輪番制病院設備整備費補助事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	輪番病院の設備整備に係る費用に対して助成を行い、診療に必要な設備を整備することにより、二次救急医療体制の充実に努めている。		
2年度概要	輪番病院が行う設備整備に対して助成を行い、診療に必要な設備を整備することにより、二次救急医療体制の充実に図る。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備


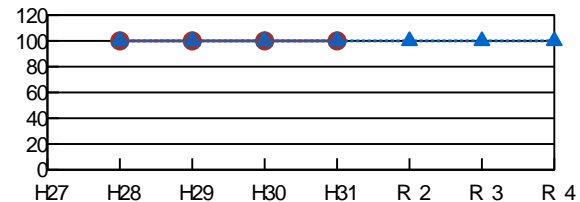

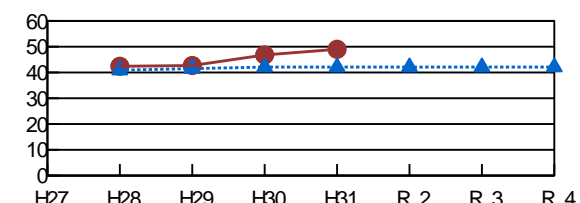
【事業の目的】

対象（何を）	市内の輪番病院（県中を除く7病院）
意図（どのような状態にしたいか）	診療に必要な医療機器を整備し、二次救急医療体制の充実に図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
病院補助件数	件	1	1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
夜間における輪番病院の開設稼働率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 全ての夜間において、輪番病院が開設されたことから、当初の計画どおり目標を達成することができた。 							(達成度) 100.0% 35点
市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度	%	目標値	41.5	42.1	42.1	42.1	42.1
		実績値	42.7	46.8	49		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市民満足度調査における「医療体制の充実」の満足度は49.0%であり、目標値を達成することができた。 							(達成度) 116.4% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	20,280	14,206	16,345	23,518
（事業費）	[円]	18,763	12,694	14,827	22,000
（職員人件費）	[円]	1,517	1,512	1,518	1,518

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

輪番病院が行う設備整備に対して助成を行い、診療に必要な設備を整備することにより、二次救急医療体制の充実に図った。国の財政状況から、補助金が基準額どおり措置されないことも想定されるため、今後、国の動向を注視する必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

国及び県の補助要綱に基づき、引き続き助成を行うものであるが、補助事業の考え方を明確にするため、市補助要綱の策定について検討する。